

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：保健環境研究費

事業名 岐阜県健康科学センター冷温水発生機改修工事設計費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

保健環境研究所 総務課 管理調整係 電話番号：058-380-2100

E-mail：c22641@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,401 千円 (前年度予算額： 1,408 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-------|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 1,408 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,200 | 208 |
| 要求額 | 1,401 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,200 | 201 |
| 決定額 | | | | | | | | | |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

岐阜県健康科学センターの空調設備は、冷温水発生機(R-1)(R-2)とヒートポンプ(R-5)の3機で冷暖房を行っているが、設備の設置から26年経過しており、頻繁に不具合が発生している。3機とも基幹的な集中冷暖房機装置として必要であり、令和7年度にヒートポンプ(R-5)を全面改修し、令和8年度に冷温水発生機(R-2)を改修する予定であり、冷温水発生機(R-1)の全面改修も必要となる。

冷温水発生機(R-1)は、令和7年4月に故障し8月に修理が完了したが、一時的な対処であるため根本的な解決はなされていない。

健康科学センターでは、適正な温度管理に必要な薬品・細菌・機器等を多数保管しており、空調機能の低下は薬品の品質や機器の故障につながる恐れがある。また、職員や来庁者にも影響を与えかねない。

冷温水発生機(R-1)は岐阜県健康科学センター開館以来稼働し続けており、何度か修理をしてきたが、交換部品の在庫もなく修理も難しくなっており、全面改修工事をする必要があるが、これを発注するためには、実施設計が求められる。

(2) 事業内容

既存の冷温水発生機(R-1)改修工事に係る実施設計

(3) 県負担・補助率の考え方
県10/10

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|-------|-------|------------------------|
| 工事委託料 | 1,401 | 冷温水発生機（R－1）改修工事実施設計委託料 |
| 合計 | 1,401 | |

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ
岐阜県県有建物長寿命化計画

(2) 後年度の財政負担
単年事業

(4) 事業主体及びその妥当性
県有施設である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和8年度中に冷温水発生機（R－1）の改修工事設計を委託し、工事を発注できる状態にする。

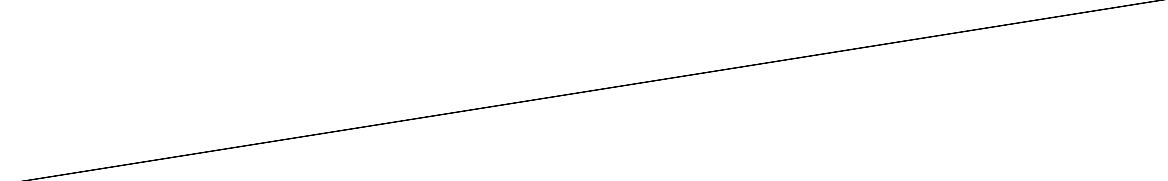
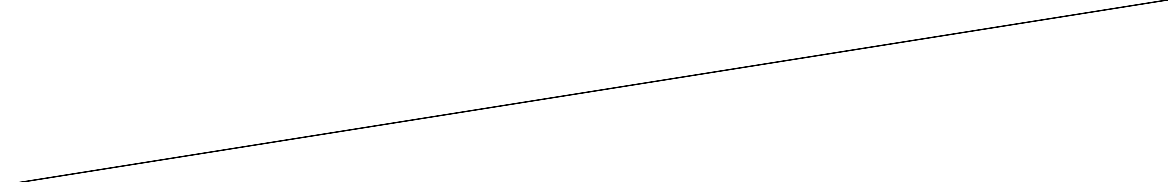
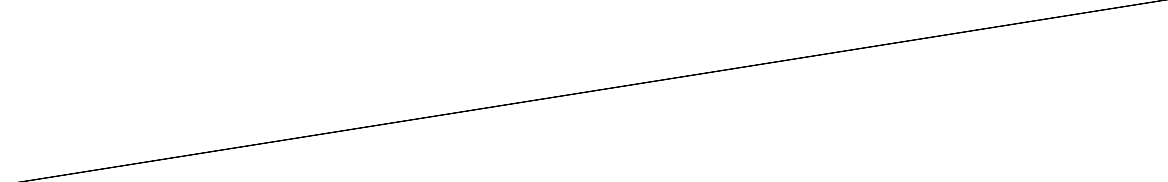
（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R) | R6年度 実績 | R7年度 目標 | R8年度 目標 | 終期目標 (R) | 達成率 |
|-----|--------------|------------|------------|------------|-------------|-----|
| ① | | | | | | |

○指標を設定することができない場合の理由

施設の維持管理に係る経費のため

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------|--|
| 令和4年度 |  <p>指標① 目標： 実績： 達成率： %</p> |
| 令和5年度 |  <p>指標① 目標： 実績： 達成率： %</p> |
| 令和6年度 |  <p>指標① 目標： 実績： 達成率： %</p> |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|--|
| ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない | |
| (評価) 3 | 冷温水発生機（R－1）は頻繁に不具合を生じており、健康科学センターの空調機能改善のため、その改修（実施設計委託）が必要とされる。 |
| ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない | |
| (評価) 2 | 施設の各設備について、優先度を考慮し計画的に改修することができている。 |
| ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている | |
| (評価) 1 | 関係課と連携し、計画に遅れが無いように進めている。 |

(今後の課題)

| |
|--|
| ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 竣工後26年が経過しており、設備改修等の大規模修繕が必要となる。 |
|--|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|----------------------------|--|
| 組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 | |
| 組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など | |